

しゃべり場★REPORT No. 20

<お問い合わせ>
 中央公民館 433-7222
 浜手地区公民館 431-0926
 山手地区公民館 446-0090

今年のテーマは、ズバリ!!
「公民館」

平成 27 年 10 月から貝塚市の社会教育施設(各公民館・青少年センター・ハート交流館・総合体育館)の利用に関する制度が一部変更となり公民館では、社会教育法第 20 条の目的に沿った自主活動をする団体(クラブ・サークル)についても使用料の一部負担が必要となります。

そこで、今年度の「しゃべり場★公民館」では、この機にあらためて「公民館について、さまざまな角度から語り合おう!」という趣旨で開催します。

第 1 回目ゲストスピーカー

阪南市立西鳥取公民館利用者 中西智恵子さん

今年度第 1 回目の「しゃべり場★公民館」は、4 月 24 日(金) 10 時~12 時、中央公民館講座室 2 にて開催しました。

ゲストスピーカーは、阪南市立西鳥取公民館利用者の中西智恵子さんです。阪南市では、平成 14 年度からクラブで公民館を使用する場合の使用料が一部負担となりました。中西さんの公民館での活動や、使用料が一部負担となった当時や現在の様子、思いを語っていただきました。

～ 中西さんのプロフィール～

19 年前、夫のリタイアを機に阪南市へ。公民館へ来たのは、日本語養成講座を受講したのがきっかけ。その後、「よさこい」「ハワイアンフラ」などのクラブを立ち上げるなどしているうちに、クラブ協議会役員の声が掛かり、会計や副会長の経験を経て会長へ。会長歴 11 年目。副会長をしていた時、クラブの公民館使用料が有料化となった。



公民館を語ろう!

日時 2015 年 4 月 24 日(金)
 午前 10 時~12 時
 場所 中央公民館 講座室 2
 ゲストスピーカー
 中西 智恵子 さん
 (阪南市立西鳥取公民館利用者)

しゃべり場★公民館、今年度のテーマはズバリ!「公民館」

10 月から貝塚市の社会教育施設(各公民館・青少年センター・ハート交流館・総合体育館)の使用料が一部負担となります。この機にあらためて公民館について、さまざまな角度から語り合おう! という趣旨で今年度は開催します。そして、その第 1 回目のゲストスピーカーは、平成 14 年度から、新しく使用料が一部負担となった阪南市立西鳥取公民館利用者の中西智恵子さん。当時の様子や思い、そして今、を語っていただき、参加者が大切にしなさいといかないことばかり、公民館で活動することの意義をあらためて考えてみてほしい?

5 月のしべり場は?

5 月 15 日(金)
 午前 10 時~12 時
 中央公民館にて
 ゲストスピーカーは
 中央公民館元館長 植田年明さんです。



「しゃべり場★公民館」は、3 名公民館での開催ですが、「しゃべり場★公民館」について、利用者も職員、一緒に考えていこう!と 2015 年度から始めました。

「しゃべり場★公民館」は、Web サイト、パンフレット、Z 会報などで詳しくしゃべり場が、紹介されています。

お問い合わせは各公民館まで
 中央公民館 433-7222
 浜手地区公民館 431-0926
 山手地区公民館 446-0090



公民館は
出会いとご縁の場

心のバリアフリーを
 モットーに活動しています

クラブ団体の使用料が有料化して…

- ◆クラブの公民館使用料が有料化して、人数が少ないクラブは運営が困難になり、なくなったクラブもある。
- ◆地域の人が公民館を使わなくなり、夜は“しーん”としている。
- ◆阪南市には3つの公民館（尾崎・東鳥取・西鳥取）があるが、それぞれ館の事情が違っていることや、公民館まつりをするだけで精一杯。利用者の中でも（有料化に対する意見は色々あり）足並みを揃える（共通した考えを持つ）ことが難しい状況だった。

中西さんの感じたこと・思い

- ◆（阪南市でも）年々クラブの役員のなり手がなくなっている。役員になると変われるのになぁ。
- ◆公民館に来て（市民同士）交流を図り、情報交換をして元気になるのは市にとっても有益では？
- ◆（公民館側も）事業のやりっ放しでは続かない。行き場のない人（講座を受講し終わった人）たちの居場所が公民館にあればいいと思う。
- ◆カルチャーセンターは自分のため・自己満足のための場所。公民館はいつでも行けて・仲間がいて・居場所があって・つながりがある。仲間とは、フォローできる・助け合える・どんな人も受け入れできる関係。
- ◆講師の教室化しているクラブもある。利用者も講師も職員も意識の向上と勉強が必要。



～参加者感想より～

- クラブ協議会の役員になった事で出会いがあり、成長させてもらった。こんな機会を逃している人は勿体ないなぁと思う。
（有料化で）“しゅん”とするのではなく、よりパワーアップしないといけないと思う。
- 町の役員をしている。公民館まで行けない人のために、町会館で公民館の出張所のようなことができるか？と思っている。今、自分が講師としてストレッチやカラオケをしているが、1人ではしんどい。公民館の人（利用者）に講師に来てもらって、1度教えてもらったら自分たちでできるようになる。（参加する側も）1回きりの“お客さん”で終わるのではなく、続けていけるようしないと。でも、どうしたらできるのか？と悩んでいる。
- 貝塚（公民館）は恵まれていると思った。
（クラブの有料化で）これからどうなるかわからないが支えていきたい。
- 貝塚（公民館）の良さをあらためて感じた。利用者と職員が一体になっていると思う。
- 公民館は自分で学んで成長するところ。市民も職員も目指すところは一緒なのだから、ともに頑張っていきたい。
- 公民館活動をもう一度考えるチャンスだと捉え、利用者みんながつながるキッカケになるような「しゃべり場」にしたい。



「学びの場」が
広がることを
期待します



第2回目ゲストスピーカー

元貝塚市立中央公民館長 植田 年明さん

第2回目の「しゃべり場★公民館」は、5月15日（金）10時～12時、中央公民館講座室2にて開催しました。

ゲストスピーカーは、元中央公民館長の植田年明さん。使用料の一部負担決定について、率直な思いをお聴きしました。また、参加者も含めて、「今（これから）自分たちに何ができるのか?」「しゃべり場で何ができるか?」などの意見交換を行いました。

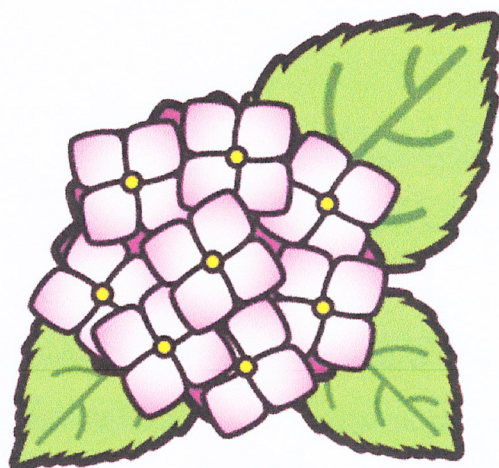
植田さんの思い

- 有料化の話が出た時、「いよいよ来たか」という印象。一部でも有料化は大変なこと。自分に何ができるだろうか?と思い、今日この場に。
- 公民館から一歩外へ出ると違った考え・見方がある。（公民館利用者と利用していない・知らない人との違い）
- 「公民館は自由なたまり場」と言いながら、有料化について職員（公民館）と利用者の中で自由な話し合いがされていないことについて、職員は矛盾を感じていないのか?自由な話し合いができてこそ公民館では?
- 利用者から「公民館を利用しているのだから、少しぐらい支払ってもいいのでは?」という声がある。このような声があるというのは、公民館活動の中身を利用者自身が気づいていないのでは?60年の歴史の中で、当然のように職員が事務所に居て、利用者の悩みの調整や自由度がある公民館の姿が普通に自然化されている結果。（利用者にもいろんな考え方があるので）市民の学習の機会も必要では?

◀右上に続きます▶



- 第1回目の中西さんの話の中に、今後のしゃべり場のテーマがすべてある。中西さんの話にあったようなことになりそうな時にそうさせない学び、行動を考えていく。例えば、役員のなり手が無い→役員制度を考える、クラブがなくなる→なくなる原因について細かく具体的なことをもっと考える、クラブの教室化→対応を考える、など。
- 1回目の参加者の中に「“しゅん”とするのではなくパワーアップしたい」とあったが、そうなるための学びが必要。
- 負担があっても、楽しい・やりたいと思える公民館活動にしていけることが大事。



～ 参加者感想より～

- 有料化についての話を、どこにどういう風を持っていけばいいのかわからない
- 有料化の話は降って湧いたような話。
- 地域をつなぐ・学びを地域へ、と言って活動していくことが、使用料を払ってるのに…となっていていかないか？
- 個人的に有料化に対する意見を聞いたりしていたが、クラブから声がないことにがっかり。
- 今、地域に貢献するとして市内施設等へ出かけたりしている。そういった公民館活動をする中で見返りや評価は何もないのか？と思う。
- 同じ高齢者が利用するのに福祉センターは無料。市民から見たらおかしいことがまだまだある。
- 今回のことで、あらためて感じたのは利用者の危機感がないこと。自分たちのことしか考えていない人もいる。利用者の意識を上げるための学びが必要。職員は変わっても、利用者は変わらないのだから、利用者が公民館を守っていく体制を作っていかなければ。
- 無料で誰でも自由に来れる場所だったのに、お金を出せない人もいるので、有料化して来れない人ができることが残念。今からできることを一緒に考えていきたい。



- 有料化の話を知ったのは議会で可決される直前。今貝塚公民館がこうなっているという状況や、他市では有料化になっているところもあるということなど、どこまでみんな知っていたのかと思う。知る努力をしていなかったと思う。現状に甘えてしまっているのでは？「決まったから」と思うだけじゃなくて、自分たちでできることをやっていけたらいいと思う。
- 今回議会の傍聴に初めて行った。何を言っているのか難しくてわからなかった。でも、選挙に行かなきゃ！と思った。自分たちができることって何だろう？自分たちの意識を変えたい。
- 私は自分たちの活動に評価や見返りは求めていないけど、自分たちのやっていることはアピールしていかないといけないと思う。
- 貝塚の良いところを維持したい。
- 3館で連携していく学びの場が必要だと思う。公民館について話す場である「しゃべり場」に参加者が少ないのは「しゃべり場」が知られていないから？意識がないから？理解していないから？クラブ以外の団体（子育てなど）も3館一緒にいろんな利用者が集まって話せるのってしゃべり場しかないのでは？

以上、さまざまな感想・意見が出ました。

みなさんも、公民館について
「しゃべり場★公民館」で
一緒に考えませんか？



「しゃべり場★公民館」って？

公民館利用者と職員と一緒に「公民館」について話す場です。しゃべり場だけ聴くだけでもOK！誰でもいつからでも参加できます。